

自分で作る「みやざき弁当の日」推進事業

都城市立安久小学校



安久小学校の教育目標

よく考えて行動する安久っ子の育成

「安久小学校の弁当の日」の目的

- 弁当作りを通して、食に関心を持ち、自立した生活態度や感謝の気持ちを育てる。

食に関するめざす児童像

- 食に関心を持ち、自らの健康について考えることができる子ども
- 食への実践力を身に付け、自立した生活ができる子ども
- 感謝の気持ちや思いやりの心を持つことができる子ども

基本的な考え方

卒業するまでに一人で弁当を作ってみよう
～無理せず、できることから～

どんなことができるかな？

- ① 弁当のおかずを考えてみよう。
- ② 買い物をしてみよう。
- ③ おにぎりを作ってみよう。
- ④ おかずを作ってみよう。
- ⑤ 弁当をつめてみよう。
- ⑥ 食べた後、弁当箱を洗ってみよう。
- ⑦ 作ってくれた人に感謝の気持ちを伝えてみよう。
- ⑧ 食べた弁当の感想を家の人と話してみよう。



昨日お母さんと材料を買いにいったよ。

おかずをお母さんと考えたよ。



低学年

おにぎりを作ったよ。包丁も上手に使えるようになったよ。



中学年

今朝早起きして、全部自分で作ったよ！



高学年

「弁当の日」の取組

保護者

学校保健委員会

～「弁当の日」って何？～

- 三股小栄養教諭から「弁当の日」の取組と意義について話を聞いた。
- 安久小ではどんな取組ができるか、学校と保護者で共通理解を行った。
⇒ 「無理せず、できることからやってみよう！！」

全児童

「弁当の日」にチャレンジ(夏休み)

- 児童と保護者が時間のある夏休みに、それぞれ自分ができる弁当作りにチャレンジした。
チャレンジした内容、感想を書き、できた弁当の写真を貼ったり、絵を描いたりして提出し、校内で掲示した。

ふれあい参観日の「弁当の日」

- 朝、早起きをして、保護者と一緒に弁当を作り、お昼は家族一緒に食べた。

5年生

総合的な学習「米作り」の一環として

- 総合的な学習「米作り」を通して、田植えから稲刈りを経験し、収穫した米でおにぎりを作った。

給食委員会

給食感謝集会

- 給食委員会の児童が、栄養のバランスやマナーについての劇を行った。

「弁当の日」に取り組んだ児童や保護者の感想

前夜から弁当箱を準備したり、普段より早起きしたりと、子どもなりに楽しみにしていました。(保護者)

弁当を作るときは、火を使うので、気をつけないといけなかったけど楽しかったです。(5年生)

お母さんと一緒に作った弁当はおいしかったです。私もお母さんみたいに上手になりたいです。(3年生)

みんなで早く起きて、弁当を作りました。三角おにぎりを作るのが難しかったです。(1年生)



※ 今年度の計画停電に係る「弁当の日」でも、できる範囲で自主的に弁当作りに取り組む児童が見られるようになった。